

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ1例(疑似症)、細菌性赤痢19例[感染地域:東京都1例、ベトナム7例、インドネシア4例、カンボジア3例、ケニア2例、ネパール1例、フィリピン1例]、パラチフス1例(感染地域:奈良県)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症5例(うち有症者4例、HUS1例)[感染地域:大阪府2例、埼玉県1例、広島県1例、国内(都道府県不明)1例 年齢群:10歳未満3例、30代1例、60代1例 血清型・毒素型: O157 VT2(4例)、O157 VT 不明(1例)]
- 4 類感染症: E型肝炎1例(感染地域:埼玉県、感染源:生レバー(種類不明))、A型肝炎2例(感染地域:国内(都道府県不明)1例、チュニジア1例)、Q熱3例(感染地域:すべて香川県、感染源:イヌ1例、ウサギ1例、不明1例)、つつが虫病1例(感染地域:鹿児島県)、ポツリヌス症1例(乳児ポツリヌス症)、レジオネラ症6例(すべて肺炎型)[年齢群:50代3例、60代2例、70代1例 感染地域:北海道1例、茨城県1例、静岡県1例、福岡県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)1例]、レプトスピラ症1例(感染地域:新潟県、感染源:ネズミ)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢12例(腸管アメーバ症11例、腸管外アメーバ症1例)[感染地域:国内6例、インドネシア2例、中国1例、タイ1例、トンガ/インドネシア1例、米国/ヨーロッパ/東南アジア1例 感染経路:経口2例、性的接触4例(異性間2例、同性間1例、不明1例)、経口/性的接触(異性間)1例、不明5例]、ウイルス性肝炎2例[B型1例(感染経路:不明)、C型1例(感染経路:性的接触(異性間))]、急性脳炎2例(A型インフルエンザウイルス2例(8歳、9歳))、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性プリオン病古典型)、後天性免疫不全症候群20例(無症候15例、AIDS4例、その他1例)[感染地域:国内17例、ブラジル1例、ドミニカ1例、不明1例 感染経路:すべて性的接触(異性間8例、同性間12例)]、ジアルジア症1例(感染地域:ポリビア)、梅毒9例(早期顕症I期4例、早期顕症II期1例、晩期顕症2例、無症候2例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例(遺伝子型:VanB1例__菌検出検体:血液、遺伝子型:VanC2例__菌検出検体:胆汁1例、中心静脈カテーテル1例)

定点把握の対象となる5類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では愛知県(19.3)、宮崎県(14.3)、山形県(14.1)、福島県(8.5)、福岡県(8.3)、三重県(7.8)が多い。

小児科定点報告疾患:RSウイルス感染症は3,141例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してもかなり多い。都道府県別では長野県(1.02)、富山県(0.97)、青森県(0.95)、宮崎県(0.81)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第2週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(7.5)、鳥取県(6.6)、新潟県(5.0)、北海道(5.0)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では鳥取県(13.0)、大分県(12.6)、福井県(11.4)、宮崎県(11.1)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(4.3)、和歌山県(4.2)、大分県(4.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県(5.5)、長崎県(1.9)、佐賀県(1.8)、鹿児島県(1.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(3.7)、宮城県(1.6)、石川県(1.4)、岩手県(1.3)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では長野県(0.09)、栃木県(0.07)、岐阜県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では神奈川県、愛知県、京都府、大阪府から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では熊本県(0.21)、山口県(0.16)、島根県(0.13)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では埼玉県より3例、長野県、愛知県、兵庫県、広島県から各1例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(3.3)、宮崎県(1.9)、岩手県(1.8)が多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.0)、青森県(3.0)、福島県(1.9)が多い。成人麻しんは宮城県、長野県から各1例の報告であった。

1)	小児科定点													眼科定点		基幹定点							
	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	2) 流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	3) 流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																							
愛媛県	.5	2.1	.1	4.3	9.6	3.8	.3	.5	.8					.6		2.5			1.0				
近県	香川県	.8	1.5	.1	1.3	5.1	2.4	.1	.3	.7	.0		.0	.7		1.0							
	徳島県	.7	4.0	.0	1.7	8.8	.8		.3	.6			.0	.4		.5							
	高知県	.5	4.4	.1	2.3	5.5	1.3	.2	.2	.4				.9		1.7				.3			
全国	5.3	1.0	.3	2.6	6.7	2.0	.4	.6	.7	.0	.0	.0	.0	.7	.0	.6	.0	.0	.5	.0	.0	.0	
北海道	4.2	.5	.5	5.0	2.7	1.4	.0	1.3	.5			.0	.0	.5	.0	.6			.1			.0	
東北	4.5	1.2	.4	2.5	6.7	2.3	.3	.9	.7			.0	.0	1.0	.0	.5			.8			.0	
関東	4.6	.3	.3	2.8	6.8	1.9	.2	.6	.7	.0	.0	.0	.0	.4	.0	.9		.0	.6			.0	
甲信越北陸	3.6	.9	.7	4.1	8.3	1.8	.1	1.2	.5	.0		.0	.0	1.4	.0	.3		.1	.5	.0		.0	
東海	11.6	1.7	.3	1.8	5.9	1.8	.2	.9	.7	.0	.0	.0	.0	.6	.0	.3		.1	.7			.0	
近畿	5.1	1.3	.2	1.7	5.4	2.0	.2	.5	.6	.0	.0	.0	.0	.7	.0	.3		.1	.4			.0	
中国四国	2.2	2.2	.3	2.7	7.9	1.9	.2	.3	.6	.0		.1	.0	.7		1.1	.0		.3			.0	
九州沖縄	6.7	.9	.4	2.5	8.4	2.9	1.6	.3	.8	.0		.1	.1	.8	.1	.9		.1	.7			.0	

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。 (2月8日集計)

全国 全数把握感染症 第5週 (2007.1.29 ~ 2.4)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																						
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第5週報告数	全 国	1	19		1	5	1		2			3			1						1					6	1	12	2	2		2		20	1			10			3		
	四 国	愛 媛 県																																									
		香 川 県										3																															
		徳 島 県																																									
		高 知 県																																									
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1																						1		1												1		1	
		東 北 関 東	1	8			1	1		1																	2		4	1					10	1			3				
		甲 信 越 北 陸																									1		2						1				1				
		東 海 近 畿		7																							1		1		2				4				1		1		
		中 国 四 国					1																						3					1					1				
九 州 沖 縄															1											2		1	1							2			3		1		
週 推 移	全 国	5週	1	19		1	5	1		2			3		1											6	1	12	2	2		2		20	1			10			3		
	4週		9	2	1	6				2					4											6		11	1	2		1	2	15			7		1				
	3週		11			20									7											4		9	2		1	1	8		1		7		1				
	2週	1	14	1		24			4	1				3	1											10		15	2		1	1	13	2		5							
2007年累積数	全 国	2	64	3	2	63	4		13	1	1	3		32	3						1					37	1	69	11	14	1	10	13	99	4	1	37	3		8			
	四 国	愛 媛 県					4																																				
		香 川 県										3																								1			2				
		徳 島 県																																									
		高 知 県																												1				1									
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1			1			1																4		2						2					1				
		東 北 関 東	1	1	1		5			2					1											1	4		4		2			1	5			3		2			
		甲 信 越 北 陸					11	3		2					6	1											8		34	2	4			5	51	3		10		3			
		東 海 近 畿		3			1								1													7	1	3	1		1	2		3		1					
		中 国 四 国		10			6								3												5		8		2			1	15		1	4	1				
九 州 沖 縄			24	2	2	6			3					8												5		13	5	3		4	2	14	1		8		2				
全 国		2			12			3					4	1											3		1	2	1		3	1	4			5							
九 州 沖 縄		1			22			3					9	1											4		4	1	2		1	1	7			5	2		1				

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.2.8集計)